



科研(B)_近代日本公共施設RC造化公開研究会 RC造公共施設の再評価

科研(B)_公共施設RC造化研究班は、日本における公共施設のRC造化の過程を解明することを目的として、2021年度より活動を開始しました。活動内容の発信を兼ね、2022年度より毎年シンポジウムをおこなうこととし、2024年度は、RC造公共施設の再評価を考えるため、話題提供と意見交換をおこないます。

日時：2025年1月30日(木)14:00～17:00

プログラム

14:00 趣旨説明

14:10 話題提供 1 橋寺知子（関西大学）

関西のRC造学校建築の再評価

14:30 話題提供 2 小松 尚（名古屋大学）

昭和初期竣工のRC造校舎を転用した創造都市拠点

—山形市立第一小学校旧校舎—

14:50 話題提供 3 永井康雄（山形大学）

関東大震災前後におけるRC造に対する言説

—『建築世界』より—

15:10 話題提供 4 湯澤規子（法政大学）

公共施設のRC造化とサニテーションの変化

—近代小学校建築を事例に

15:30-15:45 休憩

15:45-17:00 意見交換

司会：西澤泰彦（名古屋大学）



主催：科研(B)_近代日本公共施設RC造化研究班（代表：西澤泰彦）

開催方法：会場(定員40名 名古屋大学東山キャンパス・環境総合館3階・講義室2)

オンライン(定員30名)いずれも申し込み先着順

申し込み：氏名・所属・参加方法を記したメールを下記に送付してください。

nszw@nuac.nagoya-u.ac.jp

申し込み締切：2025年1月28日（火）